

第 11 回 J C H O 宇和島病院地域協議会 議事概要

【日 時】令和 2 年 1 0 月 1 3 日（火） 1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 2 0

【場 所】J C H O 宇和島病院 3 階講堂西

【議 題】 1. 経営状況および第 2 期中期計画の進捗状況について
2. 研修医等の受入状況について
3. 発表『J C H O 宇和島病院における薬剤耐性菌対策と活動報告』
4. 意見交換
5. その他

【出席者】奥田 喜久美（利用者）

梶原 伸介（市立宇和島病院長）

荃田 仁志（くきた内科クリニック院長）

谷 忠夫（利用者）

富田 直明（宇和島保健所長）

増田 潤（宇和島医師会長）

毛利 正光（宇和島市保険健康課長）

（以上：五十音順）

渡部 昌平（J C H O 宇和島病院院長）

矢野 達哉（J C H O 宇和島病院附属老健施設長・副院長）

佐々木 修（J C H O 宇和島病院副院長）

富永 康浩（J C H O 宇和島病院副院長）

浅野 実香（J C H O 宇和島病院看護部長）

斧 信之（J C H O 宇和島病院事務長）

岡 渕 直子（J C H O 宇和島病院薬剤部 主任薬剤師（発表者））

【概 要】

1. 経営状況および第 2 期中期計画の進捗状況について

令和 2 年度 8 月までの経営状況（収支、病院の 1 日平均患者数・患者 1 人 1 日
当たり診療収入、附属老健の 1 日平均入所者数・通所者数）、救急車による受入患
者数、第 2 期中期計画（数値目標）について報告を行った。

意見

特になし

2. 研修医等の受入状況について

研修医等の受入について、平成31年度、令和2年度受入実績の説明を行った。

意見

(内部委員) 今年度はコロナの影響もあり、愛媛大学医学部附属病院からの研修は無くなりました。愛媛大学医学部6年生のクリニカルクラークシップで2週間ずつ、計4名の学生に来ていただいていたのですが、今年度に限っては実施されないことになりました。

3. 発表『JCHO宇和島病院における薬剤耐性菌対策と活動報告』

日本の薬剤耐性菌対策について（AMRアクションプラン、成果目標、サーベイランス結果）、当院の薬剤耐性菌対策について（新設の抗菌薬適正使用支援加算とは、活動報告、今後の課題）発表した。

意見

(外部委員) レボフロキサシンが250mgとなっていた。500mgじゃないのは特別な意味がありますか。

(内部委員) 採用薬の規格を表しています。1日量ではありません。250mgを2錠や腎機能が悪い方は1錠など、小さい方の規格を採用しています。

(外部委員) 薬はよく分かりません。風邪だとPLを直ぐ出してもらいますが。

(内部委員) お手元にあるパンフレットが簡単に解りやすく書かれているので、目を通していただけたらと思います。PLは総合感冒薬です。抗菌薬は入っていませんので対症療法に使用されます。

4. 意見交換

(外部委員) 老健について、全国的にコロナの関係で面会禁止がありますが、面会禁止の場合に施設によってはiPadでLINE電話を使用して顔を見ながら面会するところもありますが、どの様な取り組みをされていますか。

(内部委員) iPad等を使用した面会をできるだけ早く実現させたいと思っています。ネット環境についてセキュリティ等の関係が厳しく、どの様な方法なら可能か検討しているところです。

(内部委員) コロナの問題は、愛媛県の中でも高齢者施設でクラスターが発生した事例が複数報告されており、我々にとっても深刻な問題です。かと言って面会制限をいつまでも続けて行くと精神的にもストレスとなるため、上手く対応していく必要があります。

- (外部委員) コロナ関連で、国からの意向調査で発熱患者をどの様に対応するか調査が来ています。開業医の場合は空間的な分離が難しいため、時間的に分離して、例えば夕方の 1、2 時間は発熱患者専用の時間帯にする。それ以外は一般患者など、どうするか調査が来ています。JCH Oはどの様に対応されますか。
- (内部委員) 感染対策については、一般患者と動線が別々の発熱外来を設けています。スタッフは常時配置していませんが、疑いの患者が来た場合、発熱外来で実際に診察・検体を採取して対応しています。
- (外部委員) 厚生労働省は必ず受診する医療機関に電話してから受診するように言っていますが、90%以上の患者さんは直接来ます。冬になってレベル 2、3になったとき、自家用車で待ってもらうなど、どの様に対応しようかと思っています。
- (内部委員) 患者さんにも迷惑を掛けたくないよう、我々も感染対策をしっかりした上で対応し、一般外来で診察するケースでは診察室を別にして防護体制を濃密にして対応しています。
- (外部委員) 1 月の救急当番医になっています。個人の病院で大勢の発熱患者が来たときにどの様に別けようかと思っています。
- (内部委員) 1 つの医療機関だけでなく、社会全体・地域全体の問題でもあり、医師会・保健所・行政の方々のアドバイスも受けながら対応していくことが重要だと思います。
- (外部委員) 診察希望はすべて受けるのですか。
- (内部委員) 国からの意向調査にどういう形で答えようか保健所の説明を聞いた上で回答する予定です。地域に根ざした医療機関として地域の方々への対応を考えています。
- (外部委員) インフルエンザの流行期で、厚生労働省の方から今年は 65 歳以上の方を優先的に受けてもらうよう、10 月 1 日からインフルエンザ予防接種を開始し、宇和島医師会始め各医療機関にお願いしているところです。個人負担については議論ありましたが、コロナ禍の状況ですので千円据え置きです。例年 50%程度の接種率です。できるだけ高齢者の方に接種いただけるようご協力お願いします。

5. その他 特になし